

# 海のいのち

立松 和平

めあて

「海のいのち」の学習の見通しをもつ。

「海のいのち」

「ぼくは漁師になる。」

父が生きた海に、太一もまた生きようとした。

七十一ページの挿絵を拡大

・太一が漁師になる話  
・死んだ父の代わりに漁師になった太一の話  
・海に生きる生命を、太一が漁師という仕事を通して感じていく話 など

単元のねらい

- 一、登場人物の生き方を中心に感想をまとめる。
- 二、読み取ったことを生かし、方法を選んで学習する。

てびき（学習方法を選ぶ）

◎1 ポスター・セッションをする。

2 読書会をする。

3 「語り」発表会をする。

ポスター・セッション

目的 ①自分が読み取ったことを相手に伝えるため

②友達の発表を聞き、感じ方のちがいに気付きながら

自分の読みを深めるため

ポスター作りで確認したい力

○ 物語のあらすじをとらえる力

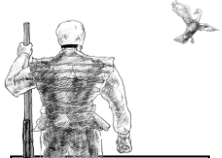
○ 物語の主題をとらえる力

○ すぐれた表現について自分の考えをまとめる力

ポスター・セッションで確認したい力

○ 自分の考えを分かりやすく説明する力

○ 感じ方のちがいに気づきながら友達の発表を聞く力

物語の主題	
	
最も大切だと思う一文	あらすじ
人物の生き方や考え方に対する自分の感想	

- 1/11 時間目 指導略案 使用するワークシート…①
- 活動のねらい

単元のねらいや「てびき」を基にして、単元の見通しをもてるようにする。

1 教科書七十一ページの文章と絵を見て、物語の内容を想像する。

① 題名、文章、挿絵を見て、どのような物語なのかを自由に想像する。

② グループや全体で想像したことを発表する。

2 学習の見通しをもつ。

① 教科書七十二ページ冒頭部分にある単元のねらいを確認する。

② 本文を通読し、どのような内容であったか大まかにつかむ。

③ 学習の方法を選ぶために、教科書八十三ページの「てびき」を確認する。

\* 本プランでは、伝記「宮沢賢治」の学習での経験を生かして、ポスター・セッションを選択しています。学級の状況に合わせて「読書会」、「語り」発表会」を選択してもよいと思います。

3 ポスター・セッションのやり方やそのねらいを確認する。

○ ポスター・セッションで使用するポスターについて、実物（教師の手作り）を提示しながら理解させる。

○ ポスターに書き入れる項目について実物を示しながら、どのような力が必要なのかを理解させる。

・ あらすじ・物語のあらすじをとらえる力

・ 主題・物語の主題をとらえる力

・ 大切な一文と感想・すぐれた表現について自分の考えをまとめる力

○ ポスター・セッションを行うために必要な力についても理解させる。

・ 自分の考えを分かりやすく説明する力

・ 感じ方の違いに気づきながら友達の発表を聞く力

評価 単元のねらいや「てびき」を基にして学習への興味をもち、単元の見通しをもつとしてしている。

4 学習を振り返り、自己評価をする。

\* ポスター・セッションの経験がない場合は、本サイトの「4単元の計画」の第1時の欄に「言語活動参考資料のページへ」としてリンクを設定しています。そちらに資料があるので参考にしてください。